



令和5年4月20日
No.105

社協だより



5月は **赤十字運動月間** です



～ 赤十字は、動いてる! ～



5月1日は日本赤十字社の前身「博愛社」が創設された日、また5月8日が世界赤十字デー（赤十字の創設者であるアンリー・デュナンの生誕日）であることから、赤十字にゆかりの深い5月を「赤十字運動月間」として、より多くの皆様に赤十字の理念や活動の普及とご協力を呼び掛けています。

日本赤十字社は、人道の精神から、世界各地での救援活動はもとより、国内における災害救護、血液事業、医療活動、社会福祉活動などを展開しており、大田市地区においても、防災訓練への参加や災害への見舞い等、年間を通してさまざまな活動を行っております。

このような活動は、みなさまからご協力いただいている活動資金（日赤会員として納めていただく会費と寄付金を総称して「活動資金」と呼びます。）により支えられています。

どうか、一人でも多くの方に赤十字の活動をご理解いただき、会員募集にご協力賜りますようお願い申し上げます。

昨年度、日本赤十字社島根県支部大田市地区へ皆さまからお寄せいただいた会費総額は、7,256,201円（一般6,935,201円・法人321,000円）となりました。ご協力大変ありがとうございました。



大田市社協HP QRコード

発行 社会福祉法人 大田市社会福祉協議会 大田市大田町大田イ128
本所(0854) 82-0091・温泉津支所(0855) 65-3950・仁摩支所(0854) 88-4421
<http://www.ohda-shakyo.jp>



大田市社協 Fb QRコード

令和5年度 事業計画

【情勢認識】

新型コロナウイルスの感染拡大により新しい生活様式が定着しつつある中、令和5年3月からはマスク着用が個人の判断に委ねられ、さらに5月からは感染症法上の類型が2類相当から5類に変わるなど新型コロナウイルス感染症対策は新たな局面を迎えています。

社会経済活動の面では、ウクライナ情勢などによる資源価格、物価の高騰が続いており、国民の消費生活に大きな影響を及ぼすこととなっています。

様々な不安を抱えながら、誰にも相談できず、あるいは相談先がわからず一人で悩み続けるなど、「生きづらさ」を抱えた人々の増加が生活困窮世帯、自死、DVや虐待件数の増加につながり、地域における社会的孤立の状況は深刻化しています。

このような状況の中、社会的孤立の解消に向け、「生きづらさ」を感じる人々の存在に気づき、その人々とながら続けることを目的とした伴走型支援により、人と人、人と社会とのつながりを実感でき、「支えられたり、支えたり」といった互助の関係性が生まれる地域づくりを目指す。「地域共生社会」の実現が求められています。

そして、地域共生社会の実現に向けては、制度やサービスといった課題解決型の支援と、制度の狭間の問題といわれる課題解決型の支援だけでは、救うことのできない「生きづらさ」を抱えた人々への伴走型支援を支援の両輪として、コミュニケーションソーシャルワークを展開しながら、すべての相談者を受け止めることのできる包括的な総合相談体制の整備が急務となっています。

また、権利擁護支援が必要な人々の意思決定支援に基づき、成年後見制度や日常生活

自立支援事業の利用促進を図り、尊厳ある本人らしい生活が継続できるように、権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築も必要とされています。

さらに、地域づくりを協働して進める地区社会福祉協議会、地区協議体、自治会や単位民生児童委員協議会などの一層の連携強化と社会福祉法人連絡会による新たな社会資源の創設なども期待されています。

【基本理念】

「だれもが住みよい、暮らしをつくる」

【基本方針】

1 人づくり・地域づくりの推進

地域福祉活動の推進においては、住民の支えあい意識の醸成や参加促進、リーダーの育成など「人づくり」が重要です。地域で暮らす人々がお互いを尊重し、思いやりの心を育む福祉教育の取り組みをライフステージに応じて推進します。

また、地域住民にとって最も身近な存在である「まちづくりセンター」を地域の拠点として、地区社協などの組織との連携強化により地域福祉活動の発展と充実を図り地域づくりに取り組みます。

さらに民間企業や社会福祉法人等が協働し地域での取り組みへの支援や社会貢献の推進を図ります。

2 包括的な支援体制の構築

地域の多様な人と資源が、世代や分野を超えてつながり、地域社会を共に創っていく「地域共生社会」の実現及び地域福祉の推進と地域生活課題に対する支援体制の構築に必要な環境づくりを一体的かつ重層的に整備を進める「包括的な支援体制づくり」に取り組みます。

3 福祉サービスが利用しやすい環境づくり

支援やサービスを必要とする人が安心して利用できる環境づくりを進めるとともに、権利擁護の取組みの充実や必要な情報を分かりやすく提供・発信し、気軽に相談できる体制を整備します。

4 生活課題の解決に向けた取組みの推進
子ども、障がい者、高齢者の生活課題の解決に必要な支援について、関係機関が連携して取り組む必要があります。必要な情報を効果的に発信しながら、孤立を防ぐための地域とのつながりや仲間づくりの充実を図ります。

また、生活困窮者の自立へ向けた支援や再犯防止対策、ひきこもりや自死対策など、個人の課題としてはなく、社会的な取組みとして進めます。

さらに、誰もが生涯にわたって健康で生活が送れるよう健康づくりと介護予防などに取り組みます。

5 安心して暮らし続けることができるまちづくり

住環境の整備や、買物・通院などの移動手段の確保は安心して暮らすための生活の基本であり、住宅・市内交通担当部局との連携による福祉的な支援を必要とする方への住まいの確保や移動支援、交通機能の充実を図ります。

また、島根県西部地震による生活への影響は未だ残っており、継続して支援を行う必要があります。地域の中で日頃から見守り合い支え合う地域づくりを推進するため、防災と防犯の体制づくりに取り組みます。

【経営方針】

(1) 適切な法人経営

◇理事会、評議員会、監査会、評議員選任・解任委員会の開催

◇苦情解決のための第三者委員の設置

◇リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備

◇財務運営・管理

◇働き方改革の推進等の労務管理

◇所轄庁への届出や対外的な法的対応と地域貢献の促進

◇会員制度の周知と会員拡大
◇民間助成金などの積極的活用
◇その他
◇組織横断的な事業推進体制の構築

【実施事業】

◇職員専門性向上と資格取得促進
◇八市社協会への参画
◇中四国都市社協連絡協議会への参画
◇大田老人福祉センター管理運営事業
◇地域包括支援センター受託協議

(1) 交流と参加による福祉教育・学習の推進
◇福祉教育推進事業

◇レクリエーション用具等貸出事業
◇支えあい意識の啓発とボランティアの育成・参加促進

◇ボランティア市民活動センターの運営
◇地域福祉活動サポーター養成事業

◇緩和ケア啓発事業への助成
◇民間助成事業（愛のともしび募金等）に関する情報提供

(3) まちづくりセンターを拠点とした地区社協などの地域組織活動の充実
◇地区社協連絡会及び情報交換会の開催

◇小地域福祉活動計画策定支援事業
◇地区社協活動支援事業

◇生活支援体制整備事業
◇福祉バス運行事業

(4) 地域の居場所づくり
◇地域介護予防活動支援事業

◇地域ささえあい活動応援助成事業
◇参加支援事業

◇地域づくり事業
◇食を起点としたつながりづくり事業

「こねくと食堂」
◇青少年の居場所 ゆきみーる運営等検討会への参画

(5) 地域づくりを進める人材の育成
◇地域研修及び地域福祉研修会の実施

◇講師等派遣事業
◇福祉委員活動推進事業

(6) 民間企業・団体や社会福祉法人との協働
◇社会福祉法人地域公益活動推進事業

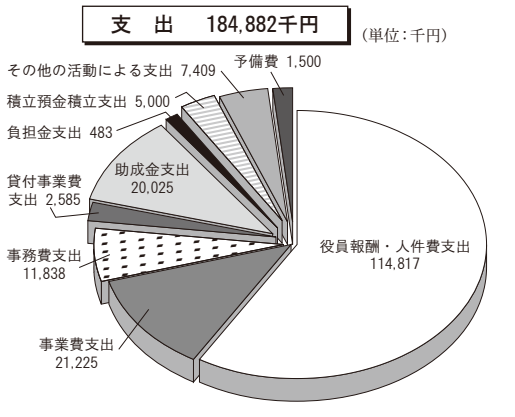
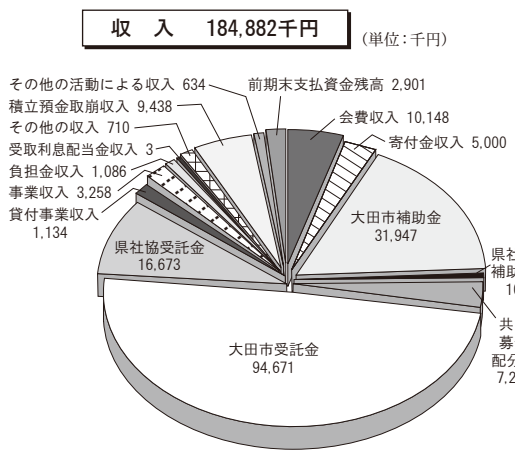
と地域貢献の促進
◇社会福祉法人地域公益活動推進事業

(7) 寄附文化の醸成
◇地域福祉活動を支える寄附の受付

◇赤い羽根共同募金運動の推進

- ◇(8)要配慮者支援へ向けた地域での体制づくり
- ◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携
- ◇このころのたより発送事業
- ◇人権施策の推進
- ◇(9)人権研修の実施
- ◇大田市人権尊重のまちづくり審議会への参画
- ◇大田圏域女性に対する暴力対策関係機関連絡会への参画
- ◇(10)多文化共生社会の実現
- ◇関係機関と連携した相談体制の整備と情報提供
- ◇在住外国人共生市民の会への参画
- ◇大田市多文化共生推進計画の推進
- ◇多文化交流の場づくり
- ◇(11)分野を超えた相談支援体制の構築
- ◇相談支援体制づくり
- ◇大田市地域ケア会議への参画
- ◇(12)重層的な支援体制の整備
- ◇多機関協働事業
- ◇重層的な支援会議の開催
- ◇大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の開催
- ◇アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
- ◇(13)制度の狭間にある生活課題の対応
- ◇制度の狭間の支援ニーズに対応する事業の企画・検討
- ◇社会とのつながり応援事業「こねくと」
- ◇はたらくきつかけ応援事業「こねくとステップ」
- ◇「コミュニティソーシャルワーク推進事業」
- ◇同行支援事業
- ◇衣類ドライブ
- ◇生活物品活用事業「こねくとドライブ」
- ◇(14)新たな福祉課題に対応する活動の企画・検討
- ◇大田市地域福祉推進支援機関代表者会議への参画
- ◇権利擁護の取組みの充実
- ◇福祉サービス利用援助事業
- ◇日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行連携
- ◇法人後見事業
- ◇大田市成年後見支援センター事業
- ◇大田市障がい者自立支援協議会権利擁護部会への参画
- ◇(15)成年後見制度の利用促進
- ◇意思決定支援を重視した地域連携ネットワーク体制の整備
- ◇中核機関への参画
- ◇(16)相談しやすい窓口の充実と効果的な情報発信
- ◇社協だよりの発行
- ◇ホームページによる活動紹介・情報提供
- ◇SNSを活用した情報の発信
- ◇ケーブルテレビなどの広報媒体の活用
- ◇子育て・子育て支援の充実
- ◇(17)子育て世帯のつながりづくりや交流の促進に向けた取り組み
- ◇子育てサロン、サークルへの情報提供等の活動支援
- ◇子育て支援団体連絡会の運営
- ◇大田市要保護児童対策地域協議会への参画
- ◇大田市保健対策推進協議会母子保健専門部会への参画
- ◇大田市子ども・子育て支援推進会議への参画
- ◇大田市子ども・若者支援地域協議会への参画
- ◇(18)障がいのある人が地域で安心して暮らせる社会の実現
- ◇障がい者社会参加促進事業
- ◇点字・声の広報の発行
- ◇福祉機器の貸し出し
- ◇障害者就業・生活支援センター事業連絡会議への参画
- ◇大田市障がい者自立支援協議会への参画
- ◇大田・邑智地域生活支援会議への参画
- ◇健康づくりと介護予防の推進、認知症対策
- ◇健康・生きがいづくりフェスティバル開催支援
- ◇食育推進サポーターの派遣調整
- ◇大田圏域健康長寿しまね推進会議への参画
- ◇大田市生涯現役・いぶし銀を支えるまちづくり推進協議会への参画

令和5年度 資金収支予算



- ◇(20)生活困窮世帯への自立に向けた生活支援の充実
- ◇生活サポートセンターおおだ(生活困窮者相談窓口)
- ◇自立相談支援事業
- ◇家計改善支援事業
- ◇就労準備支援事業
- ◇一時生活支援事業
- ◇地域における生活困窮者等のための互助の基盤づくり事業
- ◇生活困窮者自立支援の機能強化事業
- ◇資金貸付事業
- ◇フードバンク事業(食品ロス対策と食糧支援)
- ◇学生服等活用事業
- ◇大田地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会への参画
- ◇(21)再犯防止施策の推進(地方再犯防止推進計画)
- ◇関係機関と連携した更生支援
- ◇社会的取組みによる自死対策の推進
- ◇大田市保健対策推進協議会自死対策専門部会への参画
- ◇大田圏域精神保健医療福祉連絡協議会並びに自死総合対策連絡会への参画
- ◇(22)住宅・生活環境の整備
- ◇物品貸出事業
- ◇住居確保要配慮者の居住支援
- ◇ゴミ出し支援
- ◇新型コロナウイルス感染症等生活サポート事業
- ◇大田市空家等対策協議会への参画
- ◇(24)移動手段の確保
- ◇生活支援に関する地域活動助成事業
- ◇大田市公共交通対策協議会への参画
- ◇(25)防災・防犯体制の充実
- ◇災害支援等ボランティア活動の推進
- ◇防災・減災推進事業(防災フォーラムの開催・防災に関する研修会の開催等)
- ◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣
- ◇島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定に基づく被災者支援活動
- ◇災害訓練等への協力
- ◇災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備
- ◇島根県西部地震復興支援活動推進事業
- ◇大田市身体障がい者福祉協会
- ◇大田市障がい者関係団体連絡協議会
- ◇大田市民生児童委員協議会
- ◇日本赤十字社島根県支部大田市地区
- ◇島根県共同募金会大田市共同募金委員会

【福祉団体等事務局の受託】

災害時のボランティア講座を開催します

島根県西部地震から5年。毎年全国各地で災害は発生し、大田市においても規模に違いはあれど毎年被害が発生しています。そこで、いつ発生するかわからない災害に備え、いざという時に支え合えるように、災害時のボランティア講座を開催します。災害時のボランティアは復興に向けて歩んでいくための大きな力です。皆様のご参加をお待ちしています。

7月4日(火) 9:30~12:00 (受付9:15開始)
大田市民センター4階

【内容】「災害時のボランティア活動のいろは(仮題)」
【申込】 下記連絡先へ電話又はFAX、メール、LINEにて申込みください
 ※メール・LINEでのお申込みは「災害時のボランティア講座」と送信ください
【連絡先】 大田市社会福祉協議会 (担当: 島田)
 電話: 0854-82-0091 FAX: 0854-82-9960
 メール: ohdavc@gmail.com LINE: @400dceii

ご登録ください!
大田市
災害ボランティアバンク

いつ発生するかわからないのが災害です。いざという時に支え合えるように、このバンクを設置しました。

メールなどで情報をお送りします

平常時 関連する研修情報 防災訓練等のご案内 他市町村の情報など	災害発生時 災害ボランティア の募集
--	---------------------------------

【登録方法】
 下記連絡先へご連絡いただくか、登録フォームからご登録ください



2023 衣類ドライブ 夏物

古着を回収し、
無料バザーを開催します!

衣類の回収期間

5月8日(月)~5月19日(金)

バザー(無料)

5月28日(日)~5月31日(水)

【回収する衣類】

大人用の夏物衣類で、肌着、靴下、下着は未使用品、その他は洗濯済み衣類(シミなどの汚れ、破れ、寄れ、ほつれなどのあるものは回収していません)(スーツの回収はしていません)

【衣類を提供いただく方】

おひとり5品まで。期間中に社会福祉協議会(本所・各支所)までお持込みください。

【衣類の提供】

バザーにてお渡しします。(無料です)
 期間中に大田市民センター1階和室にお越しください。(9:00~17:00)



地域ふれあい食堂 「こねくと」 食堂

「こねくと食堂」は、子どもから大人までだれでも参加できる食堂です。

みんなで、おいしいごはんを食べて過ごせる交流の場づくりをめざして毎月1回の開催を予定しています♪

どなたでも参加いただけますので、ぜひお越しください(^^)

地域ふれあい食堂

こねくと食堂



令和5年度上半期開催予定 大田市社会福祉協議会

4/21 (金)	5/19 (金)	6/30 (金)
7/28 (金)	8/25 (金)	9/29 (金)

時間/午後5:00~午後8:00 ☆参加にあたっては事前申込みをお願いします!(受付は午後7:30まで)

場所/大田市民センター4階(大田市大田町大田イ128) 申込受付を開始します! おたのしみに! ※大田市民会館となり 「こねくと食堂」に関する情報は↓↓(最新情報を随時お届け!)

参加費/おとな: 100円
 こども: 無料
 ※50歳申込み先着順



～大田市民生児童委員協議会より～

令和4年度 児童福祉部会研修会を開催しました

令和5年2月21日に「子どもの食について」と題し研修会が開催されました。

「子どもの生活実態について」「養育支援が必要な家庭から見える現状」「ヤングケアラーについて」として、大田市子ども家庭支援課係長 西上佐恵氏より、また地域食堂開催を通じた視点から、温泉津町の地域食堂「どがなか屋」代表 宮里陽子氏の2名

より講演をいただきました。

講演後は、グループごとに「食を通じた地域の居場所支援について」とのテーマで講演を通じて得た気づきや自分たちにできることなどについて話し合いを行いました。

グループでは活発な意見交換が行われ、多くの気づきや自分たちにできそうなこと、今後期待する取組みなど多くの意見がでました。



※2023年2月号にてお知らせをしました新しい民生委員さんのお名前に誤りがありました。正しくは下記のとおりです。訂正し、お詫び申し上げます。

(正) 楫野 恭久 さん

(誤) 楫野 泰久 さん



くにびき学園西部校 公開講座

「“人生100年時代”生きがいやりがい活動見本市」

県西部の各地で活動する団体と、交流・情報交換を行い、つながってみませんか？
「地域のなかにこんな活動をしている団体があるなんて知らなかった」「自分の地域でも参考にしたい」そんな発見があるかもしれませんよ。

令和5年6月20日(火) 午後1時～午後3時10分

いわみーる (浜田市野原町1826-1)

定員20名(先着)

内容

健康、居場所づくり、地域づくりなど、様々なテーマで活動する8団体がブースを構え、交流や情報交換ができます。

料金
無料

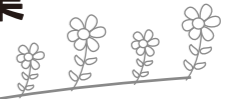
申込み 6月15日(木)までに、くにびき学園西部校へ 電話：0855-24-9336

シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集



令和5年3月4日(土)5日(日)の2日間にわたり、恒例の「福祉展-作品展示会-」を開催いたしました。展示準備の最中、作品に魅了され、なかなか準備が進まない場面も・・・それほど皆様の作品のクオリティに毎年のことながら驚かされます。

本会の会員と何より福祉施設の皆様に沢山ご出展いただき、お蔭様で賑やかに迎えることができましたこと御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

また、この度は「ねんりんピックえひめ2023美術展」の出展選考会も同時に開催致しました。(結果は下記に掲載)



「ねんりんピックえひめ2023美術展」 選考結果発表

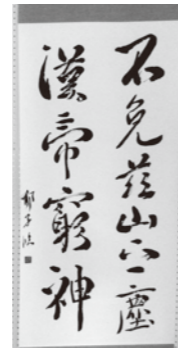
【書部門】全12作品 選考票数169票

作品No.2 「悠」 森山祥明さん(福吉会) 53票
作品No.1 「温泉銘」 三代郁子さん(久利寿会) 34票

上記2作品が選ばれました。森山さん・三代さん、おめでとうございます。10月に開催される標記美術展に出展させていただきます。12作品全てが力のこもった作品でした。出展頂きました皆様、誠にありがとうございました。

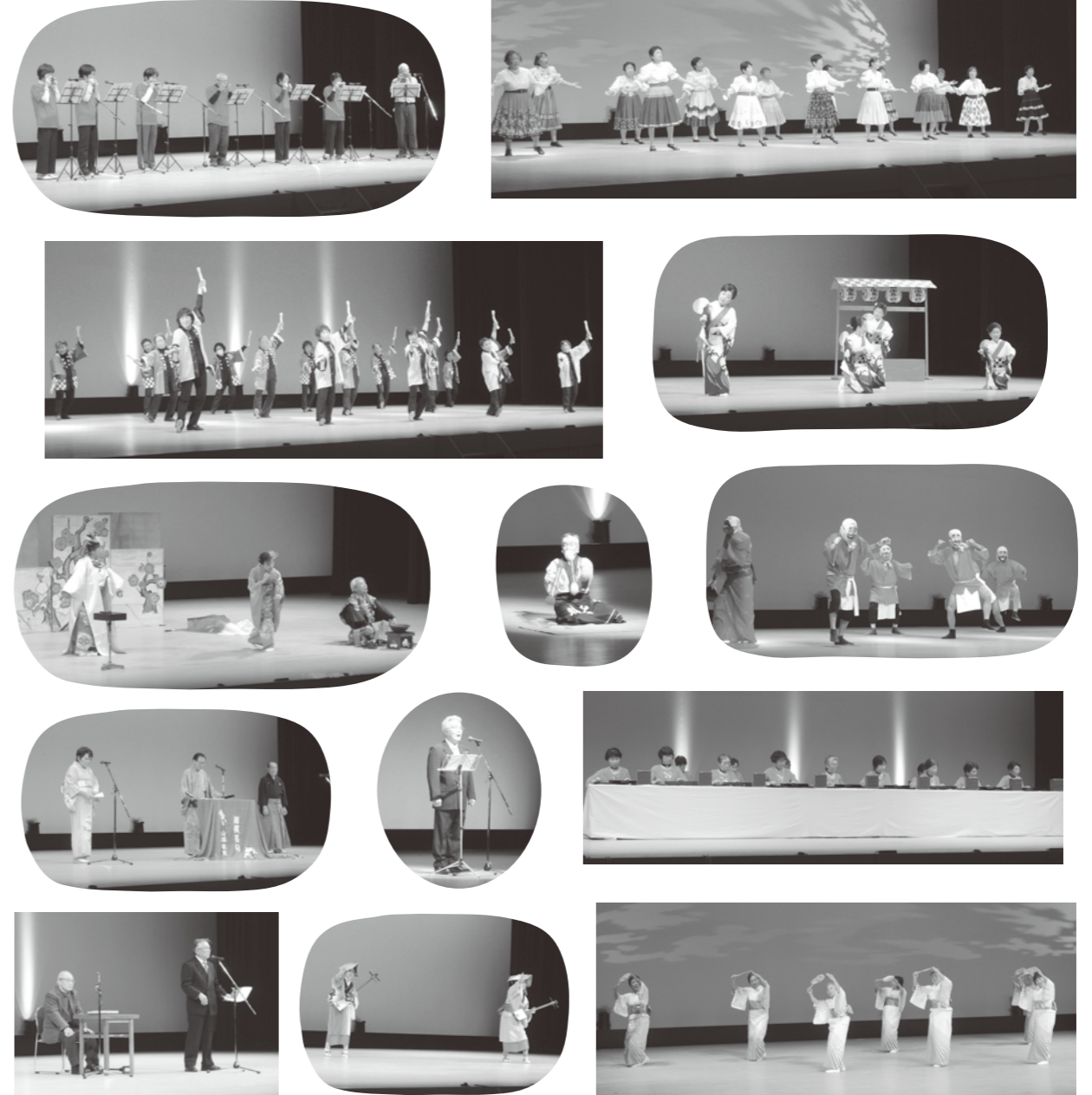


← 「悠」
森山祥明作



← 「温泉銘」
三代郁子作

令和5年2月10日(金)「芸能大会」が開催されました。日頃の成果を存分に発揮された出演者の皆様 華やかな舞台に、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。ご出演頂いた皆様方、誠にありがとうございました。今回は午後から短いお時間での開催でしたが、次回は1日通しての開催が出来ますこと期待いたしております。



ずっとつながる (事務局) 大田市シニアクラブ連合会

〒694-0064 大田市大田町大田1128番地
TEL 0854-84-0266
FAX 0854-82-9960
月曜日・木曜日 8:30~17:00(祝日休)

「ホッとつたある」

ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

(令和5年2月・令和5年3月受付分順不同・敬称略)

○香典返し寄付
大田 熱田スミコ

森山ひとみ 松尾 紫
宮田 治彦 島田キミエ

川根合 小林千代子

○一般寄付
大田 景山 由博

西村 俊二

高橋 尚生

香川県 渡邊 洋一

岩倉 祐一郎

白石 隆行

埼玉県 田中 久富

高尾 一

中井 陽子

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

佐々木初美

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

福田千津香

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

下垣文治

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

土山輝治

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

笠江かおる

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

松本真二

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

坂根拓倫

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

長久敏弘

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

静間哲一

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

五十猛 壯志

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

久利富男

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

清水積美

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

水建弘隆

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

祖式一康

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

温津良雄

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

仁摩 邦宏

香川県 渡邊 洋一

高尾 一

松村 孝治
大村 孝彦
中尾 好彦
夕永 恵美
三原 良雄
福湯 一康
中村 弘隆
木建 康隆
清水 積美
窪田 積美
田平 眞由美
荒木 富男
中村 壯志
竹下 博之
松本 哲一
坂根 拓倫
長久 敏弘
久利 富男
五十猛 壯志
静間 哲一
清水 積美
水建 弘隆
祖式 一康
温津 良雄
仁摩 邦宏

大田 景山 由博
西村 俊二

高尾 一

以上、869,980円のご寄付を
いただきました。また、古切手も
多数いただきました。

○食品・学生服等の寄贈

長久 坂根真知子
静間 宝吉丸
久利 月森 浩
温津津 敬願寺
瑞泉寺仏教婦人会

株式会社みしまや大田長久店

他多数の方々にご協力いただきました。

救援金へのご協力
ありがとうございました

令和5年3月受付分(敬称略)

ウクライナ人道危機救援金

- 志学 石田 英之
- 大田市役所設置義援金箱



市民後見人養成講座 開催のお知らせ

令和5年度、第7回目の市民後見人養成講座を開催します。
大田市では、家族が遠方在住により一人暮らしの方や高齢者だけの世帯が多く、認知症などにより財産の管理や生活の支援を近くで見守る人がいなくてお困りの方が多数いらっしゃいます。このような状況の中には、成年後見制度を利用することが望ましいケースが年々増加しております。しかしながら、市内には司法書士等の専門職後見人が非常に少なく、専門職以外の市民による後見活動に適任なケースもたくさんある状況です。

これまでの6回の養成講座を受講された市民後見人の方々により、延べ42件の後見事例で市民後見人が選任され、現在も21件の後見活動に市民後見人の皆様が活躍されています。

引き続き、今年度においても市民後見人養成講座を開催し、多くの市民の皆さんに成年後見制度の基礎知識を学び、今後市民後見の役割を担っていただきたく、ご案内いたします。

受講期間は6月～来年1月で、毎月1回程度(全9回、土曜日、昼間)開催予定です。

詳しくは、大田市社会福祉協議会 総務課までお問合せください。

問合せ先 大田市社会福祉協議会 総務課 大田市成年後見支援センター
TEL(0854)82-0091 FAX(0854)82-9960

トルコ・シリア地震救援金

志学 石田 英之
本会にお寄せいただいた救援金は、日本赤十字社を通じ、国際赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会、および各国赤十字・赤新月社が実施する救援活動を支援するために役立つとされます。

編集後記

新年度になり、社協に入って早いもので6年目になりました。長かった様なあつという間だった様な気がしています。新たな業務や担当地区も加わり、新たな気持ちで今年度も業務に臨みたいと考えています。また、3月からマスクの着用が個人の判断となり、ゴーグルデンウィーク明けには2類から5類に移行するなど、コロナ禍も新たな局面を迎えています。感染対策を行いつつ、旅行などにも出かけたりプライベートも復活していきたいと感じています。(大)

大田市社会福祉協議会は福祉活動を中心に活動していますが、人権に関する内容も多くあります。「石見銀山遺跡とその文化的景観」を世界遺産に登録したユネスコは「人類の平和と人権の尊重」をめざしています。